

平成29年度

京都市地域リハビリテーション 推進研修プログラム



「地域に帰る」がモットーの地域リハビリテーション
推進センターのPRキャラクター「地域ガエル」です!

京都市地域リハビリテーション推進センター

私たちは、地域リハビリテーションの
より一層の推進や、高次脳機能障害のある
方やからだの動きに障害のある方への支
援等の取組を通じて、障害のある市民の方
が、その人らしくいきいきと地域で暮らし
ていける社会づくりを進めています。



平成29年度

京都市地域リハビリテーション推進研修 実施要領

1 目的

本研修は、リハビリテーションに関連する知識及び介護技術等の向上を目的とした研修を行うことにより、本市における地域リハビリテーションの推進及び充実に資するとともに、福祉・介護サービス等の質の向上に資することを目的とします。

2 受講対象者

次のいずれかに該当している方

(1) 次に定める事業に従事する市内事業所の職員

ア 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び相談支援

イ 児童福祉法による障害児入所支援及び障害児通所支援

ウ 介護保険法による居宅サービス事業（居宅療養管理指導、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く）、地域密着型サービス事業、施設サービス事業

(2) 市内の総合支援学校及び育成学級等に勤務している教職員

(3) 障害のある方を支援する業務に従事している本市職員

(4) 障害者支援等を行っている市内団体等に所属する方

(5) 障害者雇用を進めている企業の方や検討されている企業の方等

3 研修日程及び内容

研修内容一覧のとおり。

4 会場

会場	所在地
京都市地域リハビリテーション推進センター	京都市中京区壬生仙念町 30 （四条御前北西角、ラポール京都の東隣） 次頁地図参照

5 申込方法等

研修申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXにてお申し込みください。

申込者1人につき1枚の用紙に御記入願います。また、申込書には、事業所等の承認印をお願いします。

なお、申込書は当センターホームページからダウンロードすることも可能です。

●ダウンロード方法

(1) 「京都市地域リハ」で検索

(2) 「京都市地域リハビリテーション推進センター」をクリック

(3) 「地域リハビリテーションの推進」をクリック

(4) 「地域リハビリテーション推進事業」をクリック

申込先・ 問合せ先	〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 番地 京都市地域リハビリテーション推進センター相談課 地域リハビリテーション推進担当（岩下・中谷）宛 （TEL823-1666 ・ FAX 842-1541）
締切	各開催日の3日前（ただし定員に達し次第、締め切ります。）

6 受講料

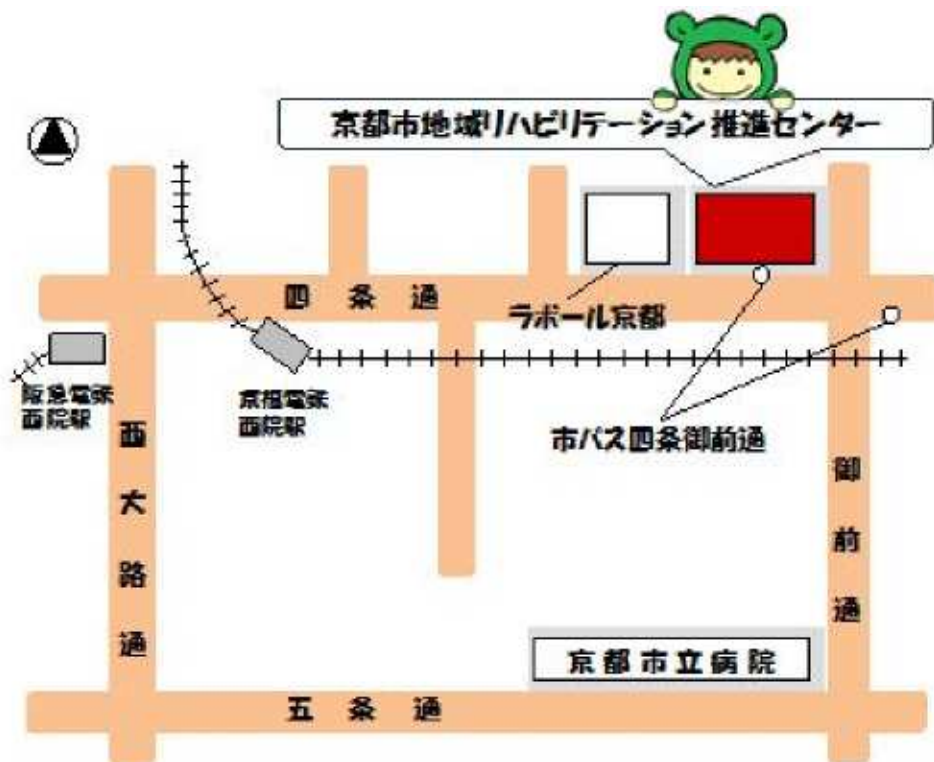
無料

7 受講

受講不可の場合を除き受講承認等の通知は致しませんので、当方から事前に受講不可の連絡がない場合は、研修申込書の写し等を御持参のうえ、会場までお越しください。

8 留意事項

- (1) やむを得ず欠席される場合は、必ず事前に御連絡ください。
- (2) 締め切り後においても、定員に達していない等により受講枠に空きがある場合には、申込を受け付けますのでお問い合わせください。
- (3) 聴覚障害により手話通訳等が必要な方は、各講座の2週間前までに御連絡ください。
- (4) 自家用車での御来場はできません。公共交通機関等を御利用ください。



※四條烏丸から

市バス（3, 8, 11, 13, 特13, 26, 27, 29, 91, 203 系統）で四條御前通下車すぐ

※京都駅から

市バス（26, 28 系統）で四條御前通下車すぐ

※阪急西院駅（西大路四條）から

四條通を東へ徒歩6分

京福西院駅からは、四條通を東へ徒歩3分

--	--	--

平成29年度 京都市地域リハビリテーション推進研修（講座）申込書

必要事項を御記入のうえ、該当する□にチェックをしてください。
お一人につき1枚記入してください。

ふりがな			経験 年数	年 月	
申込者氏名					
	※主に行っている業務を一つチェックしてください ☐ 生活支援員（指導員） ☐ 相談員 ☐ ホームヘルパー ☐ 看護師 ☐ 機能訓練指導員 ☐ 教員 ☐ ケアマネジャー ☐ 介護職員 ☐ ケースワーカー ☐ 保健師 ☐ その他（ ）				
受講希望日	●6月20日（火） ☐ 「ソーシャルワーク概論」 ☐ 「相談援助における面接の基本姿勢」				
	●6月21日（水） ☐ 「介護予防・日常生活支援総合事業」 ☐ 「地域包括ケア総合事業」				
	●6月30日（金） ☐ 「障がい当事者が伝える感謝と本音」				
	●7月25日（火） ☐ 「知的障害について」 ☐ 「知的障害のある人の日中活動支援」				
	●8月 4日（金） ☐ 「発達障害の特性理解と支援」				
	●8月29日（火） ☐ 「自閉症、アスペルガーのコミュニケーション支援」 ☐ 「ことばの発達」				
	●9月 7日（木） ☐ 「障害のある方への就労支援①」 ☐ 「就労支援②」 ☐ 「就労支援③」				
	●9月26日（火） ☐ 「医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント」				
	●9月27日（水） ☐ 「精神障害について」 ☐ 「気分障害の方の就労支援の実際」				
	●10月 4日（水） ☐ 「統合失調症の方への支援」 ☐ 「アルコール・薬物依存症の方への支援」				
	●10月19日（木） ☐ 「難病の方への支援」 ☐ 「難病について」				
	●10月31日（火） ☐ 「摂食嚥下障害とその対応」				
	●11月 2日（木） ☐ 「障害者差別解消法」 ☐ 「障害者相談支援事業」				
	●11月28日（火） ☐ 「認知症について」 ☐ 「認知症のある方の支援の実際」				
	●11月30日（木） ☐ 「整理収納支援」				
	締め切りは各講座の3日前 ※期日前であっても定員に達し次第締め切りますのでお早めにお申込下さい。				
	所属している事業所等	名称			
所在地		郵便番号	—		
電話番号		()			
FAX 番号		()			
事業所等種別	事業分類	☐ 障害 ☐ 介護 ☐ 学校 ☐ その他行政機関 ☐ 一般企業			
	サービス事業所種別	※主なものの一つにチェックしてください ☐ 入所 ☐ 通所 ☐ 居宅・訪問介護 ☐ 相談支援事業 ☐ 介護老人福祉施設 ☐ 区役所・支所 ☐ 総合支援学校 ☐ その他（ ）			

上記の者について、受講することを承認します。

事業所長などの職氏名 : 職名 氏名 印

--	--	--

平成 29 年度 京都市地域リハビリテーション推進研修（実習）申込書

必要事項を御記入のうえ、該当する□にチェックをしてください。
お一人につき 1 枚記入してください。

ふりがな			経験 年数	年 月 日
申込者氏名				
	※主に行っている業務を一つチェックしてください ☐ 生活支援員（指導員） ☐ 相談員 ☐ ホームヘルパー ☐ 看護師 ☐ 機能訓練指導員 ☐ ケアマネジャー ☐ 介護職員 ☐ ケースワーカー ☐ 保健師 ☐ 教員 ☐ その他（ ）			
受講希望日	●「お出かけしよう！」 ☐ 6月14日（水） ☐ 7月 3日（月） ☐ 11月 8日（水）			
	●「ご飯を食べよう！」 ☐ 6月27日（火） ☐ 7月19日（水） ☐ 9月13日（水）			
	●「トイレに行こう！」 ☐ 7月 6日（木） ☐ 7月31日（月） ☐ 11月15日（水）			
	●「お風呂に入ろう！」 ☐ 6月28日（水） ☐ 7月13日（木） ☐ 11月27日（月）			
	●「からだの動かし方研修」 ☐ 6月15日（木） ☐ 6月23日（金） ☐ 7月11日（火）			
	☐ 7月20日（木） ☐ 10月27日（金） ☐ 11月16日（木）			
	●「車椅子シーティング」 ☐ 9月 5日（火）			
	●「失語症のグループワーク」 ☐ 10月10日（火）			
	●「ゲームを通じたグループワーク」 ☐ 10月23日（月）			
	●「口腔ケア」 ☐ 11月 7日（火）			
	●「排泄ケア」 ☐ 11月17日（金）			
	●「介助用リフト」 ☐ 11月20日（月）			
	●「自助具」 ☐ 11月22日（水）			
	締め切りは各講座の3日前 ※期日前であっても定員に達し次第締め切りますのでお早めにお申込下さい。 ※動きやすい服装でご参加下さい。			
所属している事業所等	名称			
	所在地	郵便番号 —		
	電話番号	()		
	FAX 番号	()		
事業所等 種別	事業分類	☐ 障害 ☐ 介護 ☐ 学校 ☐ その他行政機関 ☐ 一般企業		
	サービス事業所 種別	※主なものの一つにチェックしてください ☐ 入所 ☐ 通所 ☐ 居宅・訪問介護 ☐ 相談支援事業 ☐ 介護老人福祉施設 ☐ 区役所・支所 ☐ 総合支援学校 ☐ その他（ ）		

上記の者について、受講することを承認します。

事業所長などの職氏名 : 職名 氏名 印

平成29年度 京都市地域リハビリテーション推進研修 講座一覧

日	時間	テーマ・講師
6月20日 (火)	13:30 ～15:20	「ソーシャルワーク概論と援助技術について」 花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 福富 昌城
	15:40 ～17:10	「相談援助における面接の基本姿勢について」 (株) キャリア開発サポーターズ代表取締役 浅野 衣子
6月21日 (水)	13:30 ～15:00	「介護予防・日常生活支援総合事業について」 社会福祉法人京都社会事業財団 高齢者総合福祉施設 京都厚生園 園長 源野 勝敏
	15:20 ～16:50	「地域包括ケア総合事業とその移行について」 社会福祉法人同和園 常務理事兼園長 橋本 武也
6月30日 (金)	13:30 ～15:30	「障がい当事者が伝える感謝と本音 ～要介護だった私が支援者に伝えたいこと～」 (株) ケアプラネッツ 代表取締役 デイサービスけやき通り 代表 葉山 靖明
7月25日 (火)	13:30 ～15:00	「知的障害について ～障害特性や障害程度による生活能力の違い～」 関西学院大学 教育学部 教授 菅原 伸康
	15:20 ～16:50	「知的障害のある人のストレングスを高める日中活動支援」 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 福祉生活デザイン学科 講師 矢島 雅子
8月4日 (金)	13:30 ～15:30	「発達障害の特性理解と支援の実際」 京都市発達障害者支援センター「かがやき」 センター長 村松 陽子 支援員 小沢 綾
8月29日 (火)	13:30 ～15:30	「自閉症、アスペルガー症候群のある人の特性に応じた 社会性やコミュニケーションへの支援」 兵庫教育大学大学院 特別支援教育専攻 教授 井澤 信三
	15:50 ～16:50	「ことばの発達～ことばの遅れのある方と話すときに 押さえておきたい基本的なこと～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 言語聴覚士 中森 千明
9月7日 (木)	10:00 ～11:30	「障害のある方への就労支援① ～地域における就労支援の実際と課題について～」 京都障害者就業・生活支援センター 京都障害者職場定着支援等推進センター 所長 戸田 則子
	13:30 ～15:10	「障害のある方への就労支援② ～総合的な就労支援について～」 京都ジョブパーク はあとふるコーナー 責任者 杉山 昭夫 主任カウンセラー 加茂 雅康 定着支援員 小島 紀子
	15:20 ～16:50	「障害のある方への就労支援③ ～企業の障害者雇用について～」 京都障害者雇用企業サポートセンター 実践アドバイザー 吉岡 隆

日	時間	テーマ・講師
9月26日 (火)	13:30 ～15:00	「医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント」 公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 医師 出島 直
9月27日 (水)	13:30 ～15:00	「精神障害について（総論）」 京都市こころの健康増進センター デイ・ケア課 精神科医 香月 晶
	15:20 ～16:50	「気分障害の方への就労に向けた支援の実際」 京都市こころの健康増進センター デイ・ケア課 精神科医 香月 晶 臨床心理士 中道 卓哉
10月4日 (水)	13:30 ～15:00	「統合失調症の方への支援の実際」 医療法人三幸会 北山病院 看護介護部長 坂井 加津美
	15:20 ～16:50	「アルコール・薬物依存症の方への支援の実際」 安東医院 副院長 安東 毅
10月19日 (木)	13:30 ～15:00	「難病の方への支援実際 ～地域での支援活動～」 京都市保健福祉センター 保健師 調整中 京都府難病相談・支援センター 相談員 戸田 真里
	15:20 ～16:50	「難病について～症状の理解と現状～」 医療法人梁山会診療所 院長・理事長 田中 直樹
10月31日 (火)	13:30 ～15:00	「摂食嚥下障害とその対応～高齢者を中心に～」 公益社団法人信和会 介護老人保健施設 茶山のさと 言語聴覚士 志藤 良子
11月2日 (木)	13:30 ～15:00	「障害者差別解消法をどう活用するか ～合理的配慮を通して～」 大阪市立大学ほか 非常勤講師 松波 めぐみ
	15:20 ～16:50	「障害者相談支援事業の現状と課題、地域連携について」 京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」 センター長 土屋 健弘
11月28日 (火)	13:30 ～15:00	「認知症について～総論～」 医療法人三幸会 北山病院 院長 澤田 親男
	15:20 ～16:50	「認知症のある方への支援の実際 ～初期集中支援と認知症カフェ～」 訪問看護ステーション 開く 作業療法士 森 志勇士
11月30日 (木)	13:30 ～15:30	「片づけが苦手な障害者の特性に合わせた整理収納支援」 NPO 法人暮らしデザイン研究所 理事長 森下 真紀 理事 西本 雅則

定 員	64名
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室

平成29年度 京都市地域リハビリテーション推進研修 実習一覧

日	時間	テーマ・講師
6月14日(水) 7月3日(月) 11月8日(水)	13:30 ~16:50	「お出かけしよう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
定 員	6名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 3階 体育館	

日	時間	テーマ・講師
6月27日(火) 7月19日(水) 9月13日(水)	13:30 ~16:50	「ご飯を食べよう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 作業療法士 言語聴覚士
7月6日(木) 7月31日(月) 11月15日(水)	13:30 ~16:50	「トイレに行こう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
6月28日(水) 7月13日(木) 11月27日(月)	13:30 ~16:50	「お風呂に入ろう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
定 員	6名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 4階 ADL室	

日	時間	テーマ・講師
6月15日(木) 6月23日(金) 7月11日(火) 7月20日(木) 10月27日(金) 11月16日(木)	13:30 ~16:50	「からだの動かし方研修」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士
定 員	8名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	

日	時間	テーマ・講師
9月5日(火)	13:30 ~16:30	「車椅子のシーティング ~崩れた座位への対処法あれこれ~」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士 義肢装具士
定 員	30名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 3階 体育館	

日	時間	テーマ・講師
10月10日(火)	10:00 ～12:00	「失語症の方も一緒に楽しめるグループワーク」 京都市地域リハビリテーション推進センター 言語聴覚士
10月23日(月)	10:00 ～12:00	「ゲームを通したグループワーク」 京都市地域リハビリテーション推進センター 心理判定員 作業療法士
定 員	6名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 ミーティングルーム	

日	時間	テーマ・講師
11月 7日(火)	13:30 ～15:30	「食べる力を支える 口腔のケア」 公益社団法人 京都府歯科衛生士会 副会長 吉本 美枝
11月17日(金)	13:30 ～15:30	「生活を支える排泄ケア」 NPO 法人 認知症排泄支援の会 代表理事 森田 昌
定 員	40名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	

日	時間	テーマ・講師
11月20日(月)	13:30 ～16:30	「知っていますか? ～介助用リフトの正しい使い方～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
定 員	6名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 4階 ADL室	

日	時間	テーマ・講師
11月22日(水)	13:30 ～16:00	「うまい自助具の活用で！ ～自分でできることを増やしてQOLを高めよう～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 作業療法士
定 員	8名	
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 4階 ADL室	



ソーシャルワーク概論と援助技術について

平成29年6月20日(火) 13:30~15:20

- (1) ソーシャルワークとはなにか
- (2) 個人に対する働きかけを考える～援助関係構築をヒントに～
- (3) 環境に対する働きかけ～社会資源の活動、開発をヒントに～

ソーシャルワークの理論や手法を、実際の現場でどう生かしていくか。

事例を豊富に例示して、実際の支援に必要な知識を厳選・整理し、実践に役立つ理論と技術を学びます。



<講師>

ふくとみ まさき
福富 昌城

花園大学 社会福祉学部
社会福祉学科教授

1988年3月 同志社大学大学院文学研究科 社会福祉学専攻修了
1987年4月 社会福祉法人聖徳園
校方ホームケアセンター勤務(ソーシャルワーカー)
1997年4月 滋賀文化短期大学人間福祉学科専任講師
2000年4月 滋賀文化短期大学人間福祉学科助教授
2001年4月 花園大学社会福祉学部専任講師
2006年4月 花園大学社会福祉学部教授

主な著書・論文(掲載誌名)

- ★『相談援助の理論と方法Ⅰ』『相談援助の理論と方法Ⅱ』(共著)(中央法規出版, 2009年)
- ★『利用者の思いを映すケアプラン事例集』(編著)(中央法規出版, 2011年)
- ★「介護支援専門員の立場からーメンタルヘルス面の課題を持った高齢者・家族を支援する介護支援専門員の課題」『老年精神医学雑誌』(25巻3号)
- ★「家族を視野に入れたケアマネジメント(1~2)」『ケアマネジャー』17巻8, 9号(中央法規出版, 2015)
- ★『介護支援専門員現任研修テキスト第1~4巻』(共編著)(中央法規出版, 2016年)

相談援助における面接の基本姿勢について

平成29年6月20日(火) 15:40~17:10

インテーク面談とは? アセスメントとは? 見立てとは?

知っているつもりでも、明確な言葉にすると「?」となる方も多いのではないのでしょうか。この機会に普段実践しておられることを振り返り、疑問や不安を解消しませんか?

基本用語の確認や面接に必要なスキルを学び、確かなスキルを身に付け、実践に結びつけていただきたいと思います。



<講師>

あさの きぬこ
浅野 衣子

(株)キャリア開発サポーターズ
代表取締役

大学卒業後、(株)阪急百貨店に入社し、人材育成・能力開発に携わる。

2011年4月よりキャリアカウンセラー、産業カウンセラーとして、大学や雇用関係施設などで指導している。

キャリア開発に関わる相談・指導・講演で活躍するとともに、キャリアカウンセラーの養成教育にも携わっている。

介護予防・日常生活支援総合事業について

平成29年6月21日(水) 13:30~15:00

介護保険制度における地域支援事業の中の新しい介護予防・日常生活支援総合事業が施行されました。地域の関係者間で地域包括ケアシステムや地域づくりの方向性を共有し、多職種の専門的視点を活かしながら、生活圏域を中心に介護予防ケアマネジメント機能を果たすことが重要といえます。

そこで、新総合事業の内容、進行する超高齢社会における地域づくり、高齢者の生活支援システムづくりなどについて考えましょう。



<講師>

げん の
源野 よしはる
勝敏

社会福祉法人京都社会事業財団
高齢者総合福祉施設
京都厚生園 園長

地域包括支援センターの現状や介護予防ケアマネジメントの課題についてもお伝えしたいと思います。

地域包括ケア総合事業とその移行について

平成29年6月21日(水) 15:20~16:50

平成27年4月から「新しい総合事業」と「生活支援サービス体制整備事業」がスタートし、地域の助け合い活動を支援するさまざまな仕組みが盛り込まれました。高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように、地域の特性に合わせ、地域住民とともにこれらの事業を作り上げていくことになります。介護、医療、生活支援、介護予防を充実させた生活支援を行い、地域包括ケアシステムを作りあげることについてともに考えましょう。



<講師>

はしもと
橋本 たけや
武也

社会福祉法人同和園
常務理事兼園長

「地域包括ケアシステム」とは、実は、“システム”ではなく“ネットワーク”なんです。「地域包括ケアネットワーク」が正しい名称だと思います。京都市にはすでに医療、介護、保健、福祉などのシステムが出来上がっていますから、それらのネットワークを地域の中でつくっていき、「地域包括ケアシステムネットワーク」という新たな仕組みづくりが必要です。

障がい当事者が伝える感謝と本音 ～要介護だった私が支援者に伝えたいこと～

平成29年6月30日(金) 13:30～15:30

40歳の冬、会議中に倒れた葉山氏。その左脳内出血の発症から12年が過ぎ、今は片麻痺の経験を活かして、デイサービス経営、執筆、研究、講演活動を全国で展開されています。

「福祉や医療のおかげで第二の人生を有意義に、意味深く、ありがたく生きています。感謝いたします。伝えたいことは心と生活のリハビリテーション。具体例を写真で伝えます。」



<講師>

はやま やすあき
葉山 靖明

株式会社ケアプラネット代表取締役
デイサービスけやき通り代表
NPO法人「学びあい」副理事長

- ・平成8年9月専門学校入社法人税法及び簿記論講師
- ・平成18年2月 左脳内出血発症 右片麻痺
- ・平成19年8月 株式会社ケアプラネット 設立
- ・平成27年3月 西南学院大学大学院修了

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★『だから、作業療法が大好きです』（三輪書店2012）
- ★『Look at what you can do!』（三輪書店2014）
- ★『幸せになるリハビリテーション “生活行為向上”を目指そう』土居勝幸編著（環境新聞2016年）
- ★『「片手で出来る料理教室」のエスノグラフィ～“夢のみずうみ村”における人生の再構築プロセス～』（修士論文2015年3月）
- ★『要介護者だった私がケアマネージャーに伝えたいこと』（月刊ケアマネジメント誌連載）

知的障害について ～障害特性や障害程度による生活能力の違い～

平成29年7月25日(火) 13:30～15:00

知的障害と言ってもその程度はさまざまで、一人ひとりの特徴も異なります。また、知的障害は「知的機能（IQ）」だけで判断されるのではなく、「適応能力」と合わせて判断されることも重要です。本講座では知的障害の障害特性や特徴、年齢や障害程度別の生活能力の違いなどを通して理解を深めます。

<講師>

すがわら のぶやす
菅原 伸康



関西学院大学 教育学部 教授

- ・福井大学大学院教育学研究科修士課程 障害児教育専攻 修了
- ・国立久里浜養護学校文部科学教官
- ・佛教大学教育学部教育学科教授
- ・関西学院大学教育学部教育学科教授

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★『特別支援教育を学ぶ人へ』編集（ミネルヴァ書房 2011）
- ★『障害のある子どものための教育と保育① エピソードでみる障害の理解と支援』（ミネルヴァ書房 2012）
- ★『障害のある子どものための教育と保育② 写真でみる障害のある子どものための課題学習と教材教具』（ミネルヴァ書房 2012）
- ★『障害のある子どものための教育と保育③ エピソードで学ぶ障害の重い子どもの理解と支援』共著（ミネルヴァ書房 2015）

知的障害のある人のストレングスを高める日中活動支援

平成29年7月25日(火) 15:20~16:50

言葉で気持ちを伝えることが苦手な知的障害者の支援は、その意思をくみ取り、潜在的にもっている力を引き出すことによって、生活のしづらさが改善されていくと考えます。障害のある人が潜在的にもっている力を引き出すこと、いわゆるストレングスを高めるための効果的な支援方法について学びます。



<講師>

やじま まさこ
矢島 雅子

京都ノートルダム女子大学
現代人間学部 福祉生活デザイン学科 講師

- ・久留米大学大学院比較文化研究科卒業
- ・福岡女子短期大学非常勤講師
- ・麻生医療福祉専門学校非常勤講師
- ・瀬上医療福祉専門学校専任教員

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★『生活福祉文化資源の探究』共著
(ナカニシヤ出版 2013)
- ★『子ども家庭福祉のフロンティア』共著
(晃洋書房 2015)
- ★『知的障害のある人のストレングスを高める支援
デイサービスの実践』
(京都ノートルダム女子大学研究紀要第42号 2012)
- ★『成人期の障害のある人の日中活動支援の現状と
課題』
(京都ノートルダム女子大学 研究紀要第44号 2014)
- ★『障害の重い人たちの日中活動と居住支援に関す
る一考察』
(京都ノートルダム女子大学研究紀要第45号 2015)
- ★『障害のある人が高齢期に直面する生活課題』
(京都ノートルダム女子大学研究紀要第47号 2017)

発達障害の特性理解と支援の実践

平成29年8月4日(金) 13:30~15:30

発達障害について、より正確に知識を整理し、理解を深めます。また、発達障害のある方がどのような場面で困り、どのような対応をすれば行動面や心理面の問題につながりにくいのか。グループワークを行い、事例を通して適切な支援の方法を話し合います。



<講師>

むらまつ ようこ
村松 陽子

京都市発達障害者支援センター
「かがやき」センター長 精神科医

専門は児童精神医学、発達障害

- ・1991年 京都児童福祉センターにて勤務
- ・1998-1999年 米国ノースカロライナ大学 TEACCH 部にて
自閉症支援について研修
- ・2005-2009年 よこはま発達クリニック勤務
- ・2009年4月より京都市児童福祉センター勤務
- ・2010年より京都市発達障害者支援センター「かがやき」
センター長兼務。

主な著書

- ★『自閉症の TEACCH』共著 (岩崎学術出版社 2002年2月)
- ★『自閉症の人たちを支援するということ』監修
(朝日新聞厚生文化事業団 2001年3月)



<講師>

おざわ りょうこ
小沢 綾

京都市発達障害者支援センター
「かがやき」支援員

相談員 (社会福祉士、精神保健福祉士)

2014年4月から、京都市発達障害者支援センタ
ー「かがやき」にて支援職として勤務。

自閉症、アスペルガー症候群のある人の特性に応じた 社会性やコミュニケーションへの支援

平成29年8月29日(火) 13:30~15:30

自閉症を中心とする発達障害のある方は人間関係やコミュニケーションで悩み、行動障害や引きこもりなどにつながる可能性があります。発達障害児・者の困難とされる諸問題の解決法と、家庭・学校・地域における生活をより豊かにするコミュニケーションへの支援について学びます。



<講師>

い さ わ し ん ぞ う
井澤 信三

兵庫教育大学大学院 特別支援教育専攻 教授

- ・1999年3月 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)修了
- ・2000年4月 兵庫教育大学に着任
- ・博士(教育学) 臨床心理士, S.E.N.S.-SV
(特別支援教育士スーパーバイザー)

主な著書・論文(掲載誌名)

- ★『思春期・青年期の発達障害者が「自分らしく生きる」ための支援』
(金子書房 2013)
- ★『自閉症・アスペルガー症候群への思春期・青年期支援』
(明治図書 2012)
- ★『ちゃんと人とつきあいたいー発達障害者人間関係に悩む人のためのソーシャルスキル・トレーニングー』
(エンパワメント研究所 2007)

ことばの発達~ことばの遅れのある方と話すときに 押さえておきたい基本的なこと~

平成29年8月29日(火) 15:50~16:50

ことばで人とコミュニケーションをとれるようになるには、どのような力が必要なのでしょうか。

「ことばが言える」ことだけに目を向けるのではなく、ことばの遅れのある方の自己決定や意思伝達を促す支援の方法を考えます。

<講師>

な か も り ち あ き
中森 千明

京都市地域リハビリテーション推進センター
相談課 言語聴覚士

ことばの遅れのある方と話す時に有効なコミュニケーションの工夫についても考えてみましょう。



障害のある方への就労支援①

平成29年9月7日(木) 10:00~11:30

テーマ「地域における就労支援の実際と課題について」

障害のある方の就労支援について、また仕事を行うために必要な生活支援について、これまでさまざまな相談に応じるにより、見えてきたことがあります。チーム支援だから出来たことや課題についてお話しします。

<講師>

とだ のりこ
戸田 則子

京都障害者就業・生活支援センター

京都市障害者職場定着支援等推進センター 所長

精神保健福祉士, 社会福祉士

障害のある方より身近な地域において
支援を行う職業リハビリテーション機関です。

障害のある方への就労支援②

平成29年9月7日(木) 13:30~15:10

テーマ「総合的な就労支援について」

京都ジョブパーク はあとふるコーナーは、京都府独自の障害のある方を対象とする就業支援拠点です。就労に関する相談、企業実習、定着支援など、関係機関と連携した総合的な就職支援を行っています。「働きたい」という気持ちを大切に、一人ひとりに合った支援計画を作り、就職に向けて一緒にステップアップをめざします。

<講師>

すぎやま あきお
杉山 昭夫

京都ジョブパーク はあとふるコーナー 責任者

はあとふるコーナーの概要や取り組みをお伝えします。

<講師>

かも まさやす
加茂 雅康

京都ジョブパーク はあとふるコーナー 主任カウンセラー

国家資格 キャリアコンサルタント, シニア産業カウンセラー

専任担当制のキャリアカウンセリング、支援計画の内容をお伝えします。

<講師>

こじま のりこ
小島 紀子

京都ジョブパーク はあとふるコーナー 定着支援員

国家資格 キャリアコンサルタント

はあとふる企業実習を通じて就職された方が安定して長く勤務できるよう定着支援を行います。

障害のある方への就労支援③

平成29年9月7日(木) 15:20~16:50

テーマ「企業の障害者雇用について」

京都府内の企業等の障害者雇用を推進するため、障害のある方に適した仕事の創出、雇用管理、各種助成制度に関する提案やアドバイスなどを総合的に行い、障害者の更なる雇用拡大及び職場定着を促進するためのセンターです。

専門スタッフの他、障害者の雇用経験、就労支援等の経験がある京都府内の特例子会社や福祉関係者による「実践アドバイザー」からお話しします。

<講師>

よしおか
吉岡

たかし
隆

京都障害者雇用企業
サポートセンター
実践アドバイザー

オムロン(株)および特例子会社において20年間障害者雇用に関与する。
現在は京都障害者雇用企業サポートセンター実践アドバイザーとして活動している。

今研修を通じて、企業が求めている人材、働きやすい環境づくり、働く方々の就労実態などをご理解頂き、福祉就労から一般就労への取り組みの一助になればと考えています。

医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント

平成29年9月26日(火) 13:30~15:00

医療的ケアとは何か、どのような状態の方が必要としているのかを知り、痰吸引や経管栄養を含む呼吸や栄養の一連の援助の理解を含め、緊急対応やリスクマネジメントを行えるように学習します。いざという時慌てないために、何度も学習していただきたい内容です。なお、吸引等の法制化についての疑問にも答えていきます。



<講師>

でじま
出島

すなお
直

公益社団法人京都保健会
京都民医連中央病院 医師

1989年京大医学部卒業後、京都民医連中央病院などで小児科医として働き、1994年鳥取大学医学部脳神経小児科、1995年以後京都民医連中央病院などで、主に重症心身障害やてんかんを持つ子どもたちの診療をしている。また医療的ケアの普及、充実のためにNPO法人医療的ケアネットの理事として活動している。

主な著書・論文(掲載誌名)

- ★『「医療的ケア」はじめての一步
介護職の「医療的ケア」マニュアル』
(杉本健郎編 分担執筆)
(クリエイツかもがわ 2009)
- ★『医療的ケアとその実践と課題
地域での暮らしを支える連携』
(チャイルドヘルス 2011; 8:1-)
- ★『どうなってるの? 医療的ケア「一部法制化」NPO法人医療的ケアネット編』
(分担執筆)
(クリエイツかもがわ 2012)

精神障害について（総論）

平成29年9月27日(水) 13:30～15:00

統合失調症，うつ病，依存症，神経症などの精神疾患に関する基本的な知識や疾患の特性，治療，ケアなどについて学びます。

<講師>

かつき あきら
香月 晶

京都市こころの健康増進センター
デイ・ケア課 担当係長 精神科医

京都府立医大卒業，関西電力病院，田附興風会北野病院，
京都府立洛南病院勤務後，京都大学医学部附属病院精神科
で助教として2年間勤務。その後，京都市こころの健康増
進センターに勤務。

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★（分担執筆）『精神科研修ノート A 症候から
みる状態像 10 食行動の異常』
（診断と治療社）
- ★（分担執筆）『精神科看護の知識と実際
A 社会のなかでの精神科疾患の理解と看護
4 総合病院精神医学』
（メディカ出版）
- ★（翻訳）『DSM 5 アメリカ精神医学会
精神疾患の診断・統計マニュアル
神経症性 やせ症』（医学書院）
- ★（論文）『緩和ケアチーム活動～精神科医と
しての実践～』
（精神科治療学第23巻—3号 2008）

気分障害の方の就労に向けた支援の実際

平成29年9月27日(水) 15:20～16:50

気分障害（うつ・躁うつ病）の方は，病状の安定とともに集中力などの機能の回復が就労に
必要とされています。本講座では就労支援デイ・ケアでの取組から，気分障害の方への支援の
実際について学びます。

<講師>

かつき あきら
香月 晶

京都市こころの健康増進センター
デイ・ケア課 担当係長 精神科医

<講師>

なかみち たくや
中道 卓哉

京都市こころの健康増進センター
デイ・ケア課 担当係長 臨床心理士

平成5年京都市児童福祉センターに心理士として勤務。
平成21年から京都市こころの健康増進センターデイ・ケ
ア課勤務。現在同センターデイ・ケア課担当係長。

統合失調症の方への支援の実際

平成29年10月4日(水) 13:30~15:00

統合失調症のある方の症状に応じた対応方法や、日常生活場面での援助方法を学びます。また、統合失調症の薬物療法に対して適切にサポートができるように薬物療法についても学びます。

統合失調症の再発を防ぐためには家族の支援も重要になってきます。今回は統合失調症のある方の家族の心理的支援についても学びます。



<講師>

さかい かつみ
坂井 加津美

医療法人三幸会 北山病院
看護介護部長, 看護師, 介護支援専門員

看護専門学校卒業後三幸会 第二北山病院の閉鎖病棟で勤務。
北山病院に異動後は開放病棟で勤務し平成10年に北山病院に老人性認知症疾患病棟を設立した際に病棟師長となり、介護保険の導入後は施設の介護支援専門員としても業務に携わっていた。
平成18年に北山病院の看護介護副部長、平成21年からは現職。

執筆

★『精神疾患の基本知識と正しい対応方法について』
介護支援専門士の専門誌
(達人ケアマネ)

講演

★『妄想のある方への対応と理解』
京都市老人福祉施設協議会研修会
★『精神症状のある方への対応について』
京都市地域リハビリテーション推進研修

アルコール・薬物依存症の方への支援の実際

平成29年10月4日(水) 15:20~16:50

アルコールや薬物(処方薬も含む)などの依存症は特別な病気ではなく、望ましい対応で回復します。地域生活の中で様々な問題につながらないために、依存症についての病気の理解と本人・家族を含めた支援方法について学びます。

<講師>

あんど う つよし
安東 毅

安東医院 副院長
精神科医

- ・平成18年3月
京都府立医科大学医学部 卒業
- ・平成18年4月~平成20年3月
済生会滋賀県病院 臨床研修を修了
- ・平成20年4月~平成23年3月
社団法人水口病院 精神科医師として勤務
- ・平成23年4月~平成24年3月
医療法人稲門会いわくら病院 精神科医師として勤務
- ・平成24年4月~
安東医院 副院長として勤務

※現在も、水口病院、いわくら病院で週1回非常勤医師として勤務

所属学会

- ★日本精神神経学会
- ★日本アルコール薬物精神医学会
- ★関西アルコール関連問題学会
- ★日本老年精神医学会

主に京都・滋賀を中心にアルコール依存症の方の治療を行う一方で、京都市こころの健康増進センター、枚方保健所でのアルコール相談を行っている。

難病の方への支援の実際 ～地域での支援活動～

平成29年10月19日(木) 13:30～15:00

難病の方が地域で生活するためには、疾患の特性に合わせた医療・福祉制度、サービスの利用が不可欠な場合が多く、本講座では、地域での各職種間の連携や、難病の方への支援の実際と現状について、京都市、京都府難病相談・支援センターそれぞれの立場から、事業内容や役割など事例をとおして支援のあり方について学び、難病の方への理解を深めます。

<講師>

京都市 調整中

京都府難病相談・支援センター

相談員 **とだ まり**
戸田 真里

・京都市

在宅難病患者や御家族を地域で支援するために、医療費助成や障害福祉サービスの申請受付とともに、訪問相談、面接などによる個別相談や、関係機関と連携して支援を行っています。

・京都府難病相談・支援センター

難病患者や家族の方々の療養生活上の悩みや不安のご相談に応じ、必要があれば、関係機関と連携して支援を行っています。

難病について ～症状の理解と現状～

平成29年10月19日(木) 15:20～16:50

地域での難病支援は、それぞれの疾患の症状理解や複数の制度利用など多職種連携が必要となります。4月1日に法改正のあった指定難病がありますが、地域で支援されることが多い神経難病疾患を中心に、特徴や症状、治療について理解を深め、医師からの視点で踏まえていただきたい配慮点や地域支援の現状と難病患者が抱える課題についても学びます。

<講師>

たなか なおき
田中 直樹

医療法人
梁山会診療所
院長・理事長

学会活動

- ★日本神経学会員・同学会専門医
- ★日本内科学会員・同学会認定内科医

- ・平成4年 京都府立医科大学神経内科部研修医
- ・平成5年 近江八幡市民病院神経内科医員
- ・平成8年 京都府立医科大学神経内科部門助手
- ・平成11年 公立南丹病院神経内科副医長
- ・平成13年 国立舞鶴病院神経内科医長
- ・平成14年 医療法人梁山会診療所理事長・院長

当診療所で、難病デイクア、訪問診療、訪問リハビリ等のサービスを提供しながら、難病患者の「在宅自立支援」を行っています。患者さんのあらゆるニーズに応えるべく、日々悪戦苦闘しています。

摂食嚥下障害とその対応～高齢者を中心に～

平成29年10月31日(火) 13:30～15:00

高齢者に多い、誤嚥性肺炎、窒息。その主たる原因は食べたり、飲み込んだりする機能の障害や衰えです。摂食嚥下のメカニズムから、最近注目されている「フレイル（虚弱）」や「サルコペニア」の話も交えながら「長くおいしく食べ続けていただく」ための支援について理解を深めます。

※当日は、ヨーグルトかプリン1個、せんべい2枚以上（お好きなものを）、飲み物、スプーン（紙製でないもの）を各自ご用意下さい。

<講師>

しどう りょうこ
志藤 良子

公益社団法人信和会 介護老人保健施設 茶山のさと
京都民医連第二中央病院 言語聴覚士

- ・平成2年 大阪教育大学 聴覚言語障害児課程修了
- ・平成2年 耳原鳳病院
- ・平成5年 京都民医連第二中央病院
- ・平成24年 介護老人保健施設 茶山のさと
- ・平成27年 光華女子学園 非常勤講師

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★『リハビリテーションの森
ーツアーガイド』
(一部執筆)
(京都府保健医協会編 かもがわ出版)
- ★『コミュニケーション技術・
生活支援技術Ⅰ・Ⅱ』
(一部執筆)
(日本介護福祉養成施設協会編)

障害者差別解消法をどう活用するか ～合理的配慮を通して～

平成29年11月2日(木) 13:30～15:00

京都府でさまざまな障害種別の方たちと一緒に京都府条例を策定するための運動に参加した経験をふまえ、障害者差別解消法の理念、意義、内容についてわかりやすくお話しします。

特に、誤解されやすい「合理的配慮」という概念について、具体例を多く用いつつ、「考え方」を含めて理解できるように講義します。



<講師>

まつなみ
松波 めぐみ

大阪市立大学 非常勤講師
(龍谷大学, 関西大学,
京都精華大学ほか)

大学卒業後、企業勤務の後、1999年より大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程へ。(専門は人権教育、教育社会学、障害学)

2008年3月、同大学院博士後期課程単位取得退学。

2008年4月から2016年3月まで、(公財)世界人権問題研究センター 研究第五部(人権教育)専任研究員をつとめた。

主な著書・論文（掲載誌名）

- ★『人権教育総合年表ー同和教育から国際理解教育、生涯学習までー』(明石書店 2013)
- ★『セクシュアリティの障害学』(共著)
- ★『ジェンダーの視点から学ぶ教育の現在』(共著)
- ★『よくわかるジェンダー・スタディーズ』(共著)
- ★『地球市民の人権教育
ー15歳からのレスンプランー』(共著)
- ★『「障害者問題啓発」再考ー「個人ー社会モデル」
「障害者役割」を手がかりとして』
(『部落解放研究』151号)
- ★『「障害者差別禁止法」以降の人権教育に向けて』
(世界人権問題研究センター研究紀要第18号)
- ★「多様性を隠してきた学校を変える」
(『季刊セクシュアリティ』2016年2月号)
- ★『ゆっくり考えていきたい「合理的配慮」』(雑誌
『ヒューマンライツ』に2014年5月より毎月連中)

障害者相談支援事業の現状と課題、地域連携について

平成29年11月2日(木) 15:20~16:50

個々の障害者の支援を通じて明らかになった地域の課題と対応について、障害者地域生活支援センターの取り組みを通してお話していただきます。

そして、計画相談支援事業などから見えてきた「地域での暮らしを支えるとはどういうことなのか？」また「地域での支援で求められる連携とはどういうものなのか？」などについて学びます。

<講師>

つちや やすひろ
土屋 健弘

京都市北部障害者地域生活支援センター
「きらリンク」 センター長

専門学校講師、障害者自立生活問題研究所の研究員を経て、2000年より障害者地域生活支援センターの相談員業務に従事している。

・京都府の障害領域における各種研修の講師を務めています。

・虐待防止に関する研修会や委員会を通じて、虐待防止に関する仕事も多くなっています。

・個人的にはコミュニケーション手段の最後の砦となる重度障害者意思伝達装置に関心を寄せて、公私で取り組んでいるところです。

認知症について ～総論～

平成29年11月28日(火) 13:30~15:00

認知症を取り巻く現状、その原因となる主な疾患とその症状、そして今日の治療や認知症のある方への支援など、認知症について知っておきたい基礎知識について学びます。



<講師>

さわだ ちかお
澤田 親男

医療法人三幸会
北山病院 院長

- ・平成6年 京都府立医科大学卒業 精神医学教室入局
- ・平成10年 京都府立洛東病院
- ・平成12年 医療法人三幸会 北山病院
- ・平成20年 同院 副院長
- ・平成28年 同院 院長

★所属学会

日本精神神経学会（専門医，指導医）
日本認知症学会（専門医，指導医）
日本老年精神医学会 など

★京都での認知症医療に関する仕事

左京医師会 認知症担当理事
京都府認知症サポート医連絡会 幹事
京都認知症総合対策推進プロジェクト委員 など

認知症のある方への支援の実際

～初期集中支援と認知症カフェ～

平成29年11月28日(火) 15:20～16:50

認知症カフェは、認知症のある方やその家族・知人、専門職、認知症について気になる人など、「共に同時代を生きる人」が気軽に集まり、なごやかな雰囲気のもと交流を楽しむ場所として各地に広がっています。

また、認知症初期集中支援チームは、認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供のため、平成30年4月までに全ての市町村で実施される多職種による訪問支援です。

今回の研修では、認知症カフェと認知症初期集中支援チームを中心に、認知症のある方や家族の在宅支援について学びます。



<講師>

もり しゅうじ
森 志勇士

訪問看護ステーション 開く
作業療法士

一社)京都府作業療法士会 認知症支援委員会委員として、カフェに参加

- ・2006年 高知リハビリテーション学院 卒業
作業療法士免許取得
- ・2006～2012年 特定医療法人 仁康会 小泉病院
(精神障害者と高齢者のリハビリテーション)
- ・2012～2015年 在宅支援診療所 おおいしクリニック
(精神障害者と高齢者の地域生活支援)
- ・2015年～(株)レクスド 訪問看護ステーション開く
(精神障害者と高齢者の地域生活支援)

片づけが苦手な障害者の特性に合わせた整理収納支援

平成29年11月30日(木) 13:30～15:30

発達障害や高齢者の方で片づける等の行為や判断が難しく、生活や支援の場面で問題となるケースが増えています。それぞれの特性に合わせた、整理収納支援のスキルを身につけていただく基礎知識の講義と、合わせてワークショップを体験していただき、良好な環境改善につなげます。



<講師>

もりした まき
森下 真紀

NPO 法人暮らしデザイン研究所
理事長

- ・2007年 整理収納アドバイザー1級合格
- ・2010年 大阪府ピアワークサポート事業
企画員(翌年3月まで)
- ・2011年 NPO 法人 暮らしデザイン研究所
理事長

主な著書 ★『地域で支える高齢期の整理収納』



<講師>

にしもと まさのり
西本 雅則

NPO 法人暮らしデザイン研究所
理事

- ・2003年 京都市環境保全活動センター
(京エコロジーセンター) 活動支援課長
- ・2008年 京のアジェンダ 21 フォーラム
事務局長
- ・2010年 京都市市民活動総合センター
副センター長
- ・2015年 NPO 法人暮らしデザイン研究所
理事・事務局長

暮らしデザイン研究所 共著(かもがわ出版2017)

お出かけしよう！

平成29年 6月14日(水) 7月3日(月) 11月8日(水) 13:30~16:50

「外出する」ことは、介護予防やQOL向上の効果もあります！安全に楽しく外出するために！

歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、電動車椅子など体験しながら学びます。



ご飯を食べよう！

平成29年 6月27日(火) 7月19日(水) 9月13日(水) 13:30~16:50

食事は生命維持のための栄養補給の他、生きがいを感じる場、他者とのコミュニケーションの場として、重要な意味を持ちます！

食事に関連する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や心理的側面、口腔ケア、コミュニケーションなどを学びます。

★カップに入ったゼリーとスプーンを持参して下さい。(お弁当に入れるミニタイプは不可です。)

トイレに行こう！

平成29年 7月6日(木) 7月31日(月) 11月15日(水) 13:30~16:50

「トイレに行く」ということは、尿意や便意を知覚・コントロール、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さまざまな動作・認知能力が要求されます！

排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを体験しながら学びます。

お風呂に入ろう！

平成29年 6月28日(水) 7月13日(木) 11月27日(月) 13:30~16:50

入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な動きがたくさんあります！

入浴動作に必要な身体機能を理解、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。

大人気！「～しよう！4シリーズ」

定員6名の少人数で楽しく体験できます！

講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士です！

動きやすい服装でご参加ください。



からだの動かし方研修

平成29年 6月15日(木) 6月23日(金) 7月11日(火)
7月20日(木) 10月27日(金) 11月16日(木) 13:30~16:50

寝返り、起き上がり、立ち上がり等の基本動作における
からだの動きを学び、介助するときどのように対象者
を動かせばお互い楽になるのか…を考えます。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの
理学療法士です。



車椅子のシーティング～崩れた座位への対処法あれこれ～

平成29年 9月5日(火) 13:30~16:30



座位の崩れでお困りではありませんか？

座位の崩れの原因とその解決方法，座りなおしの介助方法，
様々なクッションと身近な物での代用，車椅子の調整方法など
を学びます。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの
理学療法士，作業療法士，義肢装具士です。

失語症の方も一緒に楽しめるグループワーク

平成29年 10月10日(火) 10:00~12:00

失語症のある方同士の相互のやりとりを促す活動は，満足度
の高いコミュニケーションの機会となるとともに，自分の状
態を客観的に受けとめるきっかけになります。

失語症の理解を深め，失語症のある方も共に楽しめるレクリ
エーション活動を考える機会となる体験を行います。



※日常業務で失語症のある方に接しておられる方が受講対象です。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの言語聴覚士です。

ゲームを通したグループワーク

平成29年 10月23日(月) 10:00~12:00

高次脳機能障害がある方などに対してグループ訓練を実施することは、自己・他者意識、意欲を促進させ、集中力を高めるのに有効といわれています。

今回の実習では、高次脳機能障害の方を対象に、当センターで実施しているグループワークを体験していただきます。また、その中で見られた利用者の変化や気づきをご紹介します。

※事業所などでグループワークを実施したいと思っている方やされている方が受講対象です。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの心理判定員、作業療法士です。

知っていますか？～介助用リフトの正しい使い方～

平成29年 11月20日(月) 13:30~16:30

介助用リフトの使い方を誤ると、利用者の負担になったり事故につながる恐れもあります！

リフトやスリングシートの種類や選択、使い方を学びます。
少人数で実技中心の研修です。

吊られる体験もあり、利用者の気持ちを感じてみましょう。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士、作業療法士です。



動きやすい服装でご参加ください

うまい自助具の活用で！～自分でできることを増やしてQOLを高めよう～

平成29年 11月22日(水) 13:30~16:00



ケガや病気で身体機能が低下し、やりにくくなった生活動作は、障害が残っても方法の工夫や福祉用具、自助具の活用で可能になることも多いものです。

実際に使用体験をしながら障害や自助具について理解を深めるほか、左写真のペングリップの製作体験も実施します。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの作業療法士です。

食べる力を支える 口腔のケア

平成29年 11月7日(火) 13:30~15:30

お口は「食べること」「話すこと」「息をすること」など生活と強く結びついており、QOL(生活の質)の維持・向上に大きな影響を与えています。

「口から食べる」を支えるには、継続的な専門的口腔ケアを行う事はもちろんですが、介護者による日々のケアがとても大切です。

今回は、口腔ケアの大切さ（誤嚥性肺炎や廃用の予防）を理解し、お口のお手入れを安全で、効果的に行えるように、実習を交えて学んでいただきます。



*当日は、歯ブラシ、タオル、手鏡を各自ご用意ください。



<講師> ^{よしもと みえ}
吉本 美枝 歯科衛生士

公益社団法人 京都府歯科衛生士会 副会長
摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士
京都府糖尿病療養指導士

株式会社 松風 勤務
京都市 保健センター 嘱託
上野歯科医院 (介護老人福祉施設 訪問口腔ケア) 勤務
京都府歯科医師会 口腔サポートセンター 勤務
徳地歯科医院 (小児在宅訪問口腔ケア) 勤務
現在に至る

生活を支える排泄ケア

平成29年 11月17日(金) 13:30~15:30

排泄に関する悩みは多種多様ですが、その方にとって快適な排泄を探していくことは、尊厳のある生活につながります。排泄ケアについて理解を深め、その方に合ったおむつの選び方、おむつの当て方等、実際の排泄ケアの場面で役立つポイントを体験しながら学びます。

<講師> ^{もりた まさ}
森田 昌

NPO法人 認知症排泄支援の会 代表理事

紙おむつメーカーに所属したのを契機に「排泄ケア」に深く関わる。名古屋大学にて排泄機能指導士の認定取得。「ミニむつき庵ぴーす」を開設し、無料排泄相談業務を開始する。在宅での排泄支援の実践報告を数々の研究会にて発表。近畿及び東海地区にて排泄ケアの勉強会を開催。在宅における認知症の方、介護者支援の経験からNPO法人認知症排泄支援の会を2015年に設立(代表理事)。



事業案内

お問い合わせは
当センターまで

障害福祉サービス事業所等訪問支援事業

相談依頼を受けて、障害福祉サービス事業所等に当センターの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を中心としたリハビリ専門職員が訪問し、利用者の身体機能や動作・運動の介助方法等について、支援者の方にアドバイスをします。

【ご相談内容の例】

- 機能低下を防ぐ関節の動かし方や筋肉のストレッチ方法等を教えてほしい。
- 作業をする時に姿勢を保つことが難しくなってきたが、対処方法は？
- 排泄や入浴動作で負担の少ない動き方や介助量を減らす支援方法を知りたい。

失語症のある方の相談支援事業

失語症とは、脳出血等の脳血管疾患の後遺症で物の名前が出てこない、言おうと思ったことをうまく話せない、音は聞こえるのに言葉が理解できないなどの症状があります。言語聴覚士が中心となって、利用できるサービスと一緒に考え、サービスの利用先へ失語症のことを説明するお手伝いをします。また、ご家族のより良いコミュニケーション方法などを検討します。

高次脳機能障害者支援センター

ご本人やご家族、関係機関等から高次脳機能障害に関する相談をお受けし、支援コーディネーター等専門スタッフが支援を行います。

また、障害について正しく理解していただくためにご本人、ご家族への講座や、障害福祉サービス事業所、医療機関等の支援者の方への研修等を実施しています。

地域ガエルのお出かけ講座

市内に在住、在学、在勤する方が10人以上集まる集会、市内の障害福祉サービス事業所等や医療機関等において10人以上が集まる研修会を対象に、当センターの専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、高次脳機能障害者支援コーディネーター等）が出向いて講座を開催します。



京都市地域リハビリテーション推進センター

住 所 〒604-8854
京都市中京区壬生仙念町30
電 話 (075) 823-1666
FAX (075) 842-1541